

1

まちづくりの指針となる

『田原市総合計画』の改定作業をスタートします

Long-Range City Planning

田原市では、平成23年度～24年度の2か年で、『第1次田原市総合計画』の改定を行います。今回は、「総合計画」とはどんな計画か、また、今なぜ改定が必要かというところをお知らせします。

「総合計画」とは？

「総合計画」は、市が策定する最上位の計画で、「将来都市像」や「都市構造」を掲げ、「まちづくりの方針」などを示すものです。また、これらの方針に基づく施策を実現するために、具体的にどのような事務事業を行っていくかを定めた、とても重要な計画です。

■総合計画で示すまちづくりのイメージ図



▲大きな方針に従って、分野ごとの計画や施策が同じ方向に進むことができる。



▲大きな方針がないと、分野ごとの計画や施策がバラバラの方向に進んでしまう。

第1次田原市総合計画

平成15年8月に田原町と赤羽根町が、平成17年10月に田原市と渥美町が合併し、渥美半島のほぼ全域が一つの市となったことを受け、



平成18年度に策定しました。

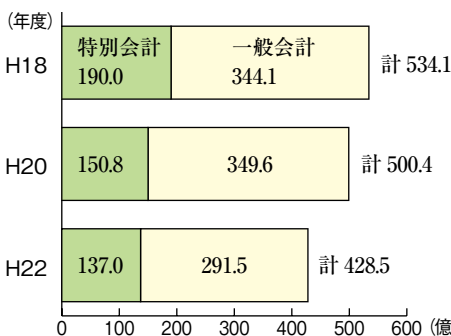
「うるおいと活力のあるガーデンシティを将来都市像とした「基本構想（2030年ごろ目標）」と、その実現に向けて取り組む施策を定めた「基本計画（平成19～28年度）」で構成しています。また、計画策定にあたっては、「まちづくり市民懇談会」「行政懇談会」「まちづくり市民提案」などを通じ、広く市民の皆さんの意見を取り入れました。

なぜ改定が必要なの？

平成18年度に「第1次田原市総合計画」を策定して約4年半が経過しました。その間、世界的な景気低迷や急激な円高の進行、政権交代に伴う国政の大幅な方向転換、東日本震災の発生など、地方自治体を取り巻く環境は劇的に変化しました。田原市では、こうした社会経済状況の変化を踏まえ、今後さらに厳しさを増すと予想される財政状況など

を考慮して、現状と見通しに則した計画の改定が必要と判断しました。

●田原市の歳入決算規模の推移



▲H18に比べH22は約2割減。今後も合併市町村への交付金が減るなど厳しい財政運営の見通し。